

No.
25

教育コミュニティ

K Y O U I K U C O M M U N I T Y

春号 2018年
SPRING

ゼロ

特集

0から始めた 私たちの 社会貢献活動

巻頭論文 TOSS が創った教材開発・授業開発の歴史 向山 洋一

- ✓ 社会貢献活動への取り組みは、教師としての総合的な力量を飛躍的に向上させる 谷和樹
- ✓ 「五色百人一首大会」で連戦連勝させる教え方 伴一孝
- ✓ 社会貢献意識を高める単元を提案する 松崎力
- ✓ 子供の幸せを広い視野でとらえ、人や地域を大切に、社会貢献の仕組みをつくる。
そして動こう 木村重夫

リニューアル記念インタビュー

教師が社会貢献活動をすることの意義

向山 洋一

インタビュアー：谷 和樹



東京教育技術研究所



TOSS®
Teachers'
Organization of
Skill Sharing

特集

ゼロから始めた 私たちの社会貢献活動

巻頭論文

T OSS が創った教師の社会貢献活動の歴史

「人々のための教育」。それが全ての原点だった。

T OSS 代表 向山洋一 10

T OSS の社会貢献活動フローチャート

兵庫県 許 鍾萬 (谷企画) 12

社会貢献活動への取り組みは教師としての総合的な力量を飛躍的に向上させる

玉川大学教職大学院教授 谷 和樹 14

「五色百人一首大会」で連戦連勝させる教え方

長崎県 伴 一孝 16

インタビュー

第二回

向山洋二氏

T OSS の社会貢献活動の源流

編集・構成… 谷 和樹 岡田 健太郎 30



地域での社会貢献活動報告

日本中の全ての小学生に届けたいもの

山形県 山口俊一 1

「次の大会」「次の活動」につなげる社会貢献活動を作る

親守詩神奈川県大会・五色百人一首神奈川県大会

2

集会で使えるワンポイントクイズ

問題…大恵信昭 イラスト…谷口公彦 4

デジタルコンテンツや小冊子の活用法

8

JIVE

ジュニア・ボランティア教育今昔物語
「立ち上げは、「一気」に！ 成功の法則である」

『ジュニア・ボランティア教育』誌 編集長 甲本卓司 28

リレー連載

「ご縁」はつながり、やがて「絆」となる。

神奈川県 清田直紀 34

世界で活躍するパラリンピアン

大阪府 松下隼司 36

日の丸を背負って世界へ 日本人オリンピックのレガシー

神奈川県 宮森裕太 40

シングルエイジに必須の『マイわくわくずかん』による

岡山県 永井貴憲 43

向山型自然体験活動

地域再興！ 四七都道府県観光テキストの活用法

静岡県 手塚美和 46

国語辞典を作った三重の偉人 谷川士清の功績を伝える

三重県 福井 慎 49

五色百人一首名人への道 「練習」と「実践」で名人になる！

山梨県 雨宮 久 52

イングランドチームについて知ろう！ 世界最強のチームが日本にやってくる

茨城県 郡司 崇人 54

Q & A 友達とうまく付き合えない子供へのアドバイス

Q…佐藤あかね A…向山洋一・師尾喜代子 56

みんなを巻き込んで盛り上がる

チャレラン大会の企画・運営アイデア

NPOO 法人日本子どもチャレランキング連盟 富山比呂志 58

企業との連携

レゴを使って学生に建設業を伝える

建設業の役割と魅力を伝える効果的な学生向けプログラムを作る

戸田建設株式会社 河東田 豊昭 60

環境・エネルギー・産業教育最先端情報

第九回エネルギー教育模擬授業全国大会を開催

経済広報センター 佐桑 徹 62

自身の世界を広げるJCCとの連携

地域貢献をしているJCCとT OSS の連携事例の紹介

千葉県 平山 靖 64

T OSS キッズスクールの学習教室

T OSS Kids School 幼児・小学生・中学生教室運営

66

教えて！ドクター

学校現場で医療等との連携が必要になった時の対処法

医療との連携は、その子を障害者にならないため

鳥取大学名誉教授 大野 耕策 構成・鳥取県 浦木 秀徳 68

「おはようございます」と挨拶する

学校外でのちよとしたビジネスマナー 第9回押印の話

東京都 大場 寿子 70

五色百人一首協会より【第二回 大会用ルール編】

学校作りにかかすことのできない五色百人一首 東京都 近江利江 72

◆地方の活躍◆ 新潟県の社会貢献活動・NPOO活動

ハブとなる「NPOOさんじょう」との連携

新潟県 田代 勝巳 74

Q & A 教えて！吉原先生 公的資金獲得の指針と方法

Q…神奈川県 金子明弘 A…千葉県 吉原尚寛 76

一年を決める4.5.6月の動き方

神奈川県 西尾 豊 79



向山洋一インタビュー

T OSS Sの 社会貢献活動の源流

勉強は自分のためだけにするのではない。人様のためになる勉強もしよう。T OSS Sの社会貢献活動が全国で多彩に展開されているその原点の思想を向山代表へのインタビューから紐解きました。

編集・構成 谷 和樹
東京都町田市玉川大学教職大学院 教授
おかだ けんたろう
東京都葛飾区立東水元小学校 岡田 健太郎

一 T OSS Sの社会貢献活動の原点

谷 … T OSS Sの社会貢献活動は、雑誌『ジュニア・ボランティア教育』から始まりました。

始めた理由を教えてください。

向山 … 当時、「ボランティア活動」は自分から自主的にやるもので、学校で教えるようなものじゃない、そういう強い固定観念がありました。

二 オーストラリアのボランティア教育

向山 … ちょうどその頃、娘の恵理子は小学生でした。ペンフレンドのケリーちゃんにオーストラリアまで会いに行ったのです。

ケリーちゃんは中一ぐらい。宿泊学習から帰ってきたところでした。聞けば、ライフセービング、つまり人命救助の研修をやってきたと誇らしげに言うのです。

ういったことをやる必要があると思いました。

四 観光・まちづくり教育への発展

谷 … その後、T OSS Sの「観光・まちづくり教育」が始まりますね。

向山 … 当時、秋田県峰浜村の村長さんに言われた印象的なお話があります。

向山先生、聞いてくれ。私たちは一生懸命に良い教育をする。でも、教育を受けた優秀な子は、高校・大学と進むにつれて、ほとんど都会へ出て行く。そして、ほとんど帰ってこない。優秀な子ほど故郷を捨てる現象が生じるのはおかしい。

そういったことに対して問題提起することから「観光・まちづくり教育」は出発しました。

五 全国に広がっていく五色百人一首

谷 … T OSS Sはなぜ、五色百人一首を社会貢献活動としてやるのですか。

私はびっくりました。

中一の女の子が人命救助の専門学習を受けたことを誇らしげに語る。

日本には、当時そういう考え方が全くありませんでした。

家庭で子供が

「何のために勉強するの?」

と親に聞くと、ほとんどの親はこう答えました。

「自分のために勉強するんだよ。」

谷 … 滅公奉私ということでしょうか。

向山 … そうです。滅私奉公の逆ですね。私を殺して公に奉仕する。それが戦前の教育なら、

公的なことは何もせず、自分のためになることだけをする。いわば、滅公奉私とも言えます教育。

それが、日本全体を覆っていたわけです。ボランティアっていうのは、自分を殺して人様のことをや

るわけですから、当時、日本の教育はまったく逆さまでした。



インタビュアー：谷和樹

三 日本で初めてのボランティア教育

谷 … 車いす、点字、アイマスク、そういったテキスト開発は、T OSS Sが日本で初めて行ったのでしょうか。

向山 … 初めてです。組合系の先生方から「そんなの学校で教えることじゃない」と言われたこともあります。

でも公教育の中で、ごく基礎的な車いすの操作とか、「お手伝いしましょうか」という声かけとか、そ

向山：まず、百人一首そのものを教室の中でやりたいと思ったのです。百枚だと時間がかかりますから、二〇枚ずつ色分けしました。二〇枚でやってみると、ちょうどいい。『教室ツーウェイ』の雑誌をコピーして印刷する形から始めました。



谷：瞬間に教室に広がったと。向山：瞬間です。

T O S S に反対の先生方も百人一首は反対しません。楽しいし、学級もまとまる。

ゲームの中でルールを守ることが覚える。覚えてないと勝てないということも分かる。相乗効果が出てきたんですね。

六 アイデオロギーを超える親守詩

谷：そして「親守詩」です。様々な方に応援いただいていますね。

向山：子守歌は親が子供に歌う歌ですね。

子守歌の反対の考え方が「親守詩」です。子供が親に歌う。これに対して親も返歌を歌ったりする。

これは大評判になりました。大きく広がっています。全国大会の記

念誌などもT O S S だけではなく、高橋史朗先生の研究団体や全日教連等立場が違う方々が載っています。 「良いことだからやっている」と賛同を得て、全国で実施されているわけです。

7 ラグビーワールドカップとオリンピックに向けた今後の動き

谷：ラグビーワールドカップ™とオリンピックに向けて教師ができる社会貢献活動についてお聞かせください。

向山：ワールドカップの場合、会場は全国各地で開かれます。日本の各地に世界中から人々が来るわけですね。

選手だけではなく、観戦するお客さんやサポーターの人たちもいます。当然、会話は、基本的に英語です。ならば、小・中学生にも、簡単な道案内程度の言葉を教えた方がいいですね。ごくごく簡単なもので



オブザーバー：師尾喜代子氏

いですよ。たくさん外国人とコミュニケーションする活動につなげていきたいですね。

師尾：そういえば、「May I help you?」のような言い方をジュニア・ボランティアの時に教えてましたね。

「なんかお手伝いできますか」って、それくらい外国の人に言えるように教えたいですね。

八 「人のための教育」

谷：マサチューセッツ工科大学の入試では、ボランティアが一つの条件になっているそうですね。

向山：そうですね。

「どんなボランティアをあなたはしましたか」と具体的に聞かれるようです。

ゆるやかな形でもいいから、そういった入試なども今後は取り入れていく必要があります。

ものすごく等級を分けるような必要はありません。でも、

人の役に立つようなことをしたことがありますか？

こういったことを、簡単な作文に書かせる程度の試験は欲しいですね。中学校へ入る時とか、六年のある時期とかに、



「これまでを振り返ってみて、人のためにどんなことを日常的にやってきたと思いますか」

それだけで意識するようになるでしょう。

道に迷ってる人を見たときに、それまでは黙って通り過ぎていたけれども、

「May I help you?」 「どこをお探ですか」

その程度の簡単なことができるって大切なことだと思いますね。